

WEEKLY REPORT

～国際奉仕委員会 小椋伸也委員長～



皆さんこんにちは。
今年度、国際奉仕委員長を仰せつかりました小椋です。副委員長には八木原清隆会員、委員には浅野久会員の3名で1年間活動していきます。目標としては、国際理解・親善・平和等の理解を深め、国内外でできる事を模索し、クラブ全体で活動していきます。

活動計画として

①TUNAGU2790プログラムへの理解を深める事。

このプログラムは国際奉仕活動の主催クラブからTUNAGU2790にエントリーしていただき賛助クラブを集める事ができるプログラムです。

1つのクラブでは資金が足りない。クラブで国際奉仕のプロジェクトをしたいが初めてのことで難しい。などの悩みが解決できるプログラムです。

このTUNAGU2790を理解し当クラブで国際奉仕活動の足掛かりになればとおもいます。

②ポリオ活動の理解を深める

前年度はポリオについての卓話を聴いて頂きましたが、今年度は12月の例会で国際奉仕委員会の時間を頂いております。

そこで前年度にパキスタンでのワクチン投与活動に参加したロータリアンからの実体験などの卓話をお願いいたします。

6月にパキスタンでのワクチン投与活動のセミナーがおこなわれ、とても学びのあるセミナーでした。この活動の内容を是非会員の皆様にきいてもらいたいです。

今年度も国際奉仕委員会をよろしくお願いいたします。

～青少年奉仕委員会 小林辰幸委員長(代読 鈴木悦朗会員)～



青少年奉仕委員会は、小林辰幸委員長、並木幸雄副委員長、そして私鈴木が所属する委員会です。

青少年奉仕委員会の今年の目標は、松戸市内特に新松戸・小金地区存住の青少年が数百名以上の多くの参加が見られる体験イベントに参加協力することにより、次世代を担う青少年の育成に貢献してゆくことを目標にしています。

具体的には、10月28日(土)開催の小金わくわく探検隊や10月19日(日)開催のハロウィンカーニバルに企画段階から参加し、また会員の皆様にはロータリーのシャツもしくは得意の仮装をして当日のお手伝いをお願いしたいと考えております。皆様ご協力のほどよろしくお願いいたします。

よろしくお願いいたします。皆様ご協力のほどよろしくお願いいたします。



《会報編集委員》平野崇広・佐久間音弥・廣瀬淳一・岡本真理子・本間紗也香・佐藤友紀

社会奉仕基金 3,837円

Rotary 2023-2024年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

松戸北ロータリークラブ会報



5月の国際大会
シンガポール
にて購入

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

会報作成者 岡本
♪8月の担当は佐久間音弥会員です

例会出席率 40.6%

第2446回 例会 2024年 7月24日(水)

- 国際ロータリー会長 ステファニー・A・アーチック
- 例会日 - 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30)
- 第2790地区ガバナー 寒郡 茂樹
- 例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」
- 第13Gガバナー補佐 尾崎 裕一
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイツ101
- 松戸北ロータリークラブ会長 柳 孝実
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- 松戸北ロータリークラブ幹事 関 征啓
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

<第2446回 例会プログラム>

司会 澁谷剛士会員

12:30	点鐘 ロータリーソング斉唱【♪我等の生業】	柳孝実会長
12:35	会食	
13:00	例会再開 会長挨拶・報告 幹事挨拶・報告	柳孝実会長 関征啓幹事
13:05	就任挨拶 ①大塚精一クラブ奉仕委員長 ②小椋伸也国際奉仕委員長 ③小林辰幸青少年奉仕委員長	
13:25	【委員会報告】 出席親睦委員会 本日の出席率発表 社会奉仕委員会 本日の社会奉仕基金発表	小林辰幸会員 高橋一彦委員長
13:30	点鐘	柳孝実会長

<会長挨拶>

皆さん、こんにちは。7月は母子の健康月間です。国際ロータリーでは、世界で解決すべき問題として、以下の3点があげられています。

いずれも日本にいと実感しにくい問題ではありますが、世界の現状として、我々が認識しておかなければならない問題だと思しますので、この機会に改めて内容をご確認ください。

1. 子どものヘルスケア

WHOによると、2019年に推定520万人の5歳未満の子どもたちが死亡し、その大半が予防・治療可能な原因によるものでした。世界的には、早産、出生時の窒息や外傷、先天性異常、そして肺炎、下痢、マラリアなどの感染症が主な原因となっています。

この内、80%以上がサハラ以南のアフリカと中央・南アジアで発生しています。国連の「持続可能な開発目標」には、2030年までに新生児と5歳未満の子どもへの予防可能な死亡を減らすという具体的な目標が含まれています。

2. リプロダクティブヘルス

WHOによると、2017年発展途上国の2億1,400万人の女性が近代的な避妊のニーズが満たされていません。避妊により、教育や経済発展の可能性が広がり、場合によってはHIVなどの性感染症の感染を防げるメリットがあります。

3. 産前・出産時・産後のケア

WHOによると、産前・出産時・産後のケアに関連した原因で死亡するリスクは、先進国で女性5,400人中1人であるのに対し、発展途上国では45人中1人となっています。2017年に、産前産後または出産時における予防・治療可能な合併症により、世界で毎日810人の女性が命を落としました。これらの合併症には、重度の出血、感染症、その他の分娩に関する問題、妊娠中の高血圧などが含まれます。これらの死亡の約94%は開発途上国で発生しており、リプロダクティブヘルスケアのほか、産前、出産時、産後のケアを利用できれば、その80%は防げると言われています。

柳孝実会長



次ページへ続く

いずれも日本にいと実感しにくい課題ではありますが、我々は地球が抱えている大きな問題の一つ問題として認識しておく必要があると思います。

一方、日本国内に目を向けると、日本にも世界と比較した時に改善すべき問題があります。厚生労働省が3年に一度公表している令和4年の国民生活基礎調査で、貧困率が算出されています。『貧困率』はOECDの作成基準に基づき算出されていますが、貧困とはざっくり言うと『可処分所得が中央値の半分』未満ということです。

それによると相対的貧困率は15.4%、子どもの貧困率は11.5%、子どもがいる現役世帯の貧困率は10.6%、その内、ひとり親世帯の貧困率は44.5%となっています。私はこの中でひとり親世帯の貧困率の高さに注目しました。なんと、日本ではひとり親世帯の半分近くが貧困層なのです。

実は、ひとり親世帯の貧困率を国際比較したデータがあります。令和4年版男女共同参画白書によると、日本のひとり親世帯の貧困率はOECD加盟36カ国中35位と非常に高くなっています。これは日本という国が世界と比べると、まだまだひとり親世帯にとって、働きづらく、収入を得にくく、自立しにくい社会であるということを示していると思います。ロータリーにはロータリーボイスという奉仕活動などを寄稿できるサイトがあります。

その中で2021年7月に愛知県のロータリークラブの子ども食堂に食糧を支援する活動が寄稿されていました。その中にこんな素敵な一節がありました。『悲しいことに、経済的な貧困は、“経験の貧困”をも引き起こしています。家族での海水浴やバーベキューなどの経験がないお子さんも多いのです。そこで、今年3月、ロータリー財団の地区補助金を活用して、『農業体験とバーベキュー』を行い、子ども食堂とつながりのあるお子さんたちを招待しました。「母と子だけでは、バーベキューをしたことがないから、とっても楽しかった」など、たくさんの感想が寄せられて、お子さんたちの心に少しは寄り添うことができたかなと感じております。』これは私にとって目から鱗の奉仕活動でした。我々は子ども食堂の運営支援に目が行きがちですが、そこで支援を受けられている親子に対する支援は、私は今まで考えたことがありませんでした。

ひとり親世帯の半数近くが貧困層で、まだまだ優しい国とは言えないこの国で、経済的な貧困が『経験の貧困』をも生み出してしまっているのなら、我々はその経験の貧困に対して支援できることがあるのではないかと思います。

7月22日に前年度卓話にお越しいただいた澁谷梨絵さんの運営されている子ども食堂を視察するため、松戸中央自動車学校を訪問させていただきました。第一部は梨絵さんが講師となりお米について学び、第二部はみんなで食事をするというスタイルでした。食材の支援は十分にいただいているという状況で、我々に何ができると考えておりました。経済的な貧困が生み出す『経験の貧困』という悪循環を断ち切るためにも、子ども食堂とつながりのある親子に対して様々な経験をプレゼントするという新たな奉仕の形が見えてきたような気がしています。またフォーラム等において全員で意見交換できればと考えておりますので、宜しくお願い致します。

<就任挨拶> ~クラブ奉仕委員会 大塚精一委員長~



クラブ奉仕委員長を拝命しました大塚です、1年間よろしくお願ひ致します。メンバーは澁谷剛士副委員長、委員として中原光男会員、大川高明会員、大川隆永会員、平野崇広の6名です。組織図をみるとプログラム委員会、出席親睦委員会、ニコニコ委員会、会報・雑誌・広報委員会、会員増強・職業分類委員会の各委員会をまとめる役目となっています。まだ、何もしていませんが柳会長の本年度に掲げるテーマを元に各委員会の目標を把握し進捗状況等を確認しながら、各委員会とともに進めて参りたいと考えていますので、皆様のご協力をお願い致します。

委員会としての目標は、今日の例会は楽しかった、充実していた。松戸北ロータリークラブに入っていて良かったと思えるようなクラブ作りを心掛けたいと思っています。